

第3学年1組 算数科
 単元名：算数の力で 忘れ物0に！
 「わかりやすく整理して表そう」

指導者 田村 純子

学習課題

様々なデータを分析し、忘れ物0を目指そう

本単元で付けたい力

- ・日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、表に表したり読んだりすることを通して、棒グラフの特徴やその使い方を理解すること。 【D(1)ア(ア)(イ)知識及び技能】
- ・データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現すること。 【C(1)イ(ア)思考力、判断力、表現力等】
- ・数学的に表現したり処理したりしたことを振り返り、多面的に捉えたり検討したりしてよりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさに気づき、今後の学習や生活に活用しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

	A	B
【知識・技能】	<ul style="list-style-type: none"> ・日時の観点や場所観点など、視点を明確にする大切さを理解し、データを分類整理し、簡単な二次元の表に表したり読んだりすることができる。 ・棒グラフで表すと、数量の大小や差がとらえやすくなることなど、棒グラフの特徴やその使い方を深く理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日時の観点や場所観点などからデータを分類整理し、簡単な二次元の表に表したり読んだりすることができる。 ・棒グラフで表すと、数量の大小や差がとらえやすくなることなど、棒グラフの特徴やその使い方を理解している。
【思考力】 【表現力】	<ul style="list-style-type: none"> ・データをどのように分類整理すればよいかについて、解決したい問題に応じて観点を多面的に定めている。 ・身の回りの事象を棒グラフに表し、特徴や傾向を捉え考えたことを表現したり、複数のグラフを比較して相違点を考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データをどのように分類整理すればよいかについて、解決したい問題に応じて観点を定めている。 ・身の回りの事象を棒グラフに表し、特徴や傾向を捉え考えたことを表現したり、複数のグラフを比較して相違点を考えたりしている。
【主体性】 【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで分類整理し、それを表や棒グラフに表して多面的に分析しながら読み取るなどの統計的な問題解決のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで分類整理し、それを表や棒グラフに表して読み取るなどの統計的な問題解決のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。

「課題発見・解決学習」の過程（全11時間）

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<p>課題の設定（1）</p> <p>○既習の学習を活用し、2学期の忘れ物の様子を知り、本単元の学習を通して忘れ物を減らしたいという意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな情報（観点）が分かれば忘れ物を0にするコツが見つかるか考え、その情報を分かりやすく表現するためにこの単元の学習が必要であることに気づき、意欲をもつ。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。 	<p>主体性</p>

学 習 活 動	育成したい 資質・能力
<p>情報の収集・整理・分析（7）</p> <p>○データを分析整理する方法や整理した結果を表にまとめる方法を理解する。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をした教科の人数を「正」の字を使って整理する。 ・結果を表に表し、「合計」の意味を知る。 ・「その他」の意味を理解する。 	知識・ 技能
<p>○データを棒グラフに表すこと、数量の大小や差が分かりやすいことや、棒グラフの読み方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「棒グラフ」について理解する。 ・表と棒グラフを比較し、どんなことが分かりやすくなったかを考える。 ・棒グラフの長さに着目して、棒グラフの特徴をまとめる。 ・横軸に数量が表されている棒グラフの読み方を知る。 	知識・ 技能
<p>○棒グラフの書き方を理解し、表から棒グラフに書き表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表を見て、棒グラフに表す。 ・項目のとり方、1目盛りの大きさなどの順に従ってグラフを書く。 ・かいた棒グラフから、棒の長さ等に注目しながら、読み取れることを考える。 	知識・ 技能
<p>○目盛りの取り方について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1目盛りの表す大きさが異なる場合の読み取り方を知る。 ・表やグラフ用紙から、1目盛りをいくつにすればよいかを考え、棒グラフに表す。 ・1目盛りの表す大きさの異なる3つの棒グラフを比較し、表し方の工夫を読み取る。 ・棒グラフを合わせたグラフを読み取る。 	知識・ 技能
<p>○一次元表を組み合わせた簡単な二次元表を読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点ごとにまとめた3つの一次元表を読む。 ・3つの表をまとめた二次元表に数を書き入れた後、その表を読む。 ・一次元表と二次元表の違いを考え、それぞれの有用性を考える。 	知識・ 技能
<p>○「課題の設定」の際に考えた観点（どんな情報が必要か）を再考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達が忘れ物を0にするためのコツを分析する際に必要な情報（観点）を再考し、アンケートを取る。 ・アンケート結果を分担して棒グラフに表す。 	思考力 表現力
<p>まとめ・創造・表現（2）</p> <p>○データを収集して整理した棒グラフを、根拠を明確にしながら多面的に分析をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフに表したデータを、整理・分析する。 ・必要だと思われるデータの取り方を考え、必要な観点の棒グラフを選択する。【本時】 	思考力
<p>○分析した情報を基に、「忘れ物を0にするコツ」を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「忘れ物を0にするコツ」を探すために、選択した表やグラフを多面的に考察する。 ・整理したデータを用いて、「忘れ物を0にする」ためのコツを考え、実践できそうな作戦を考えることができる。 	思考力
<p>振り返り（1）</p> <p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考え出した「忘れ物0のコツ」を実践し、算数の力で忘れ物が減ることを実感し、算数科の学習と生活との繋がりを振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で自らの学びを振り返る。 	自己理解